



宮姫伝

TOUKIDEN

— 卷之貳 —

HELLABUNNA GIANT COMICS OF
TOUKIDEN Vol. 2 ADULT ONLY

成人向

劊姬伝

TOUKIDEN

- 卷之貳 -

HELLABUNNA GIANT COMICS 47
TOUKIDEN Vol. 2 ADULT ONLY





ふん…
この辺りの鬼を
狩り廻してる志が
おると聞いたが

……んぐっ

う……う

おんぐっ

こんな小娘の匂いも
抜けきつていない
牝一匹とはな

く…
おんぐっ

少しは手応えの
ある輩かと
勇んで来てみれば

んぐっ
うっ

これでは
拍子抜けも
いいところだが

おんぐっ

まあよい…

これでも
鬼絞いの巫女には
違いあるまい

く…

貴様らに
打ち倒された
はらからの恨みは

その身に憐わせて
やるとしよう

うぐっ
や…あっ

貴様の
生媧の秘肉にな







キサ...

...マツ



大丈夫ですか？
かすみ……

上野
上野
上野
上野
上野



もう……
ダメですよ
こんな所まで
一人で……



ありがとう……
紅葉さん

立てますか？

はい
大丈夫……



ごめんなさい
紅葉さん



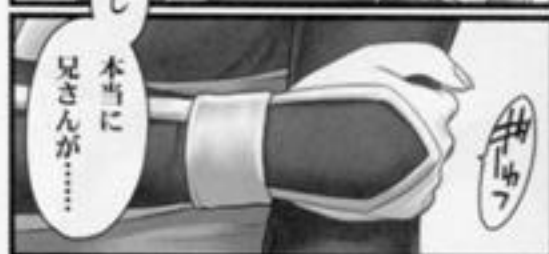
——
でも



貴女は……

……時期頭首
なんですから

勝手はなさらないで
貴女にもしもの事が
あつたら——



ハヤテ
頭領様は必ず
戻ってきますわ

私も…里の皆も
信じてます

必ず…此度の禍根を
突き止めて里に戻ると

だから私達は
里を守りましょう

あの方が
戻られた時に皆で
迎えられるように

それまで誰も
失う事のない
ように

……さうですね

ありがとう
紅葉さん

少し…
落ち着きました

ふんふん

さあ 里に
戻りましょう

大きな
鬼の気配は
ないけれど
この辺りは
危険です

そうですね

まるで…土に
瘴気が浸み込んで
いるみたい…

ええ

土地そのものが
穢されてる
ような



いかにあつ

しまった...た

シッポ...

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ジュッ...

腕前は
確かのようにだが
まだ若いのう

あれしきで
討ち倒したと
思うたか



そんなっ...

確かに...
手応えは
あった...のにつ

この傷の
痛みは—



これ程に
刻まれたのは
不覚だったがな

貴様を慰み物にして
晴らすとしよう

や……

離しなさいっ

やっ…

廻り甲斐のある
体しておるわ

産婦せい

じっくりと
楽しみながら
辱めてやるぞ

や…め

くっっ

女
#

やっ

や

や

や

女
#

女
#

やめなさいっ

いや…

んっ

離し…なさいっ





やめなさいっ

やめ

やめ... あっ

やめ...

いやっ あっ

生意気な口を
きいておつても
所詮は女

慰み物にされる
屈辱は耐えがたい
であろう？

や... あっ

や... あっ

なげ

く... あっ

こんな…無礼っ
許さないわよっ

はあっ

はあっ

うっ…ん

大人しそうな
顔をしておるが
中々に気丈な女よの

だが

この小娘は
どうかな

いい声で鳴きよる
書様より余程
鬨り甲斐がありそう
だぞ？

かすみっ

やめなさいっ
かすみには
手を出さな…



うっ

や...

くっくっ

ガク

ガク

ガク

ガク

雙結は
いいか？
二人まとめて
たっぷりと
離り尽くして
くれる

やめ...っ

かすみ
にはっ

嫌あ

ガク

グキ

グキ

ガク

手を...
出さないでっ

グキ

グキ

グキ

ガク

ガク

ガク

貴方に…傷を
負わせたのは
私ですっ

闘るのなら
私をつ……

……っ

私を慰み物に
して……くださいっ



だ…め
紅葉さ

ほう
余程この小娘が
大事と見える

自ら
身代わりに
なると云うか

よかろう

そうまで
云うなら——

……っ







寝美にたっぷりて
鬼の精を
飲ませてやる

いいぞ
いい具合だっ





折角飲ませて
やったのに
吐き出しおって
飲みきれぬなら
乳房を密せて
受け止めろっ



ギュー...



ようし...
自分の手で精液を
しっかりと肌
に
刷り込め



糖つき鬼に
穢された屈辱を
身を清めても
決して忘れられぬ
ようにな

う...
い...
や

う...
う...



一滴たりとも
地に落とすで
ないぞっ

う...
う...



乳首には特に念入りに刷り込めよ

んっ...



うっ……

はあ……

うっ……

うっ……

はあ……

ミザッ

はあ……

私の陰茎は
貴様の口では
啜えきれんな

乳房に奉仕
させてやろう

雌牛の如き
立派な乳にな

ミザッ



うっ……

はあ……

ミザッ

ミザッ

うっ……

はあ……

しっかり挟んで
搾りませよ

いや……あ

ミザッ

貴様一人で鬼を
満足させようと
云うのなら

全身くまなく
使って奉仕せねば
到底最後まで
身がもたぬぞ

ミザッ



とじとじと…
こゝな

…感じ…てっ

っ……



早速効いて
きおったか

いやあ
鬼の精液は
女の肉欲を数倍にも
昇ぶらせるのでな



よく刷り込んだ
おかげで乳房が
驚くほど淫らに
なっておろう？

やめ…てっ



さあ…よく感じる
乳房でよがりながら
奉仕を続けるがいい

う…う

はあッ



こやあ

シラッ

シラッ

グッ

シラッ

シラッ

シラッ

シラッ

女房だけだまるで女帯をかき回されるが如くのがり様だな

グッ

グッ

おめおめ

グッ



念入りに
刷り込んだおかげで
乳首がまるで淫核の
如く感じるであろう？

いや
ため

それ 自分の手で
肉棒に擦り付けて
しこませよう

アハハハ...

はしたない声で
鳴きよるわ

これらはぐさぐさが
散らしてやっつておののか
わからのっ

ほら
乳だけで
果てよった

なんとも淫らな
巫女殿だの



何を呆けておる
次の奉仕をせぬか



ふん たった一度
果てた程度で
根をあげるか

乳房で
出来ぬと
云うのならは

もっと大事な
女の穴を
縫ってやるぞ

嫌女嫌女嫌女

カ

カ

中々可愛いらしい
ナリをしておる

いや

無理にでも
捻じ込んで
くれるかな

いや
いや
いや

こんな小さな
穴では我が
陰茎はおろか

肉の根ですら
啜えきれるか
どうか

いや

いや

嫌女嫌女嫌女



い
あ
あ
あ
あ

ほう
すんなり
啞えよった

使い込んで
おらぬ様だが

この感触：曹様
生感ではないな

巫女の分際で
男を知っておるとはな



ならば
少々の事で壊れる
心配もいるまい

肉壺を存分に
かき回して
くれよう

鬼に犯された
様子は無いと
するのよ

探をゆりねは
ならぬ身でありながら
男をたらしこみ
よったか
全くならしたのな
女中の

巨大な、歪んだ文字の塊

巨大な、歪んだ文字の塊

巨大な、歪んだ文字の塊

巨大な、歪んだ文字の塊

巨大な、歪んだ文字の塊

巨大な、歪んだ文字の塊

巨大な、歪んだ文字の塊



悦んでばかり
おらぬで上の
口でも奉仕せい

穴一つでは
到底足りんぞっ

おっぱい
お尻

おっぱい
お尻

おっぱい
お尻

おっぱい
お尻

おっぱい
お尻

おっぱい
お尻

おっぱい
お尻

おっぱい
お尻

おっぱい
お尻

おっぱい
お尻



はっ...

やめて...

やめて...

やめて...

貴様の
身代わりになると
自ら申し出たのだ

よく見ておけ

うへっ

鬼絞いの巫女なとと
粋がって我らに
仇なさば

ガッ

グッ

ガッ

グッ

やめてえ...

お願い...

いかな目に
遭うのかな

貴様の為に
縛られておるのを
黙って見ておれぬと
云うのなら

貴様にも
手伝わせて
やろうか

や…
あ

やめてっ

や…

はあ

お願いっ
小娘を
買遣う余裕が
出てきたか
少しは
こなれて
きおったか

かすみには…は

やめてくださ…

よいならば
肉根といわず
我が肉茎を啜え
させてやろう

あ
あ
あ

あ

手を
出さな…

い…でっ

かくかく
あ
あ
あ

あ
あ
あ

ん…
はあ

自ら踏って
奉仕してみせい

う…う

はあ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

はあ…

これで
満足させられたら
小娘は無事に帰して
やるでしょう

ん……う

ムキムキ

だ……めえ

こんな……
大きなのっ

入らな……いつ

どうした？よもや
小娘にやらせる
気ではあるまい？

はあ

だ……めっ

だ……め
せめてっ

かすみ……だけは
無事……でっ



割れ目を
目一杯に開いて
飲み込みよった

いいぞ...さあ
尻を振って
肉壺で刷り上げい

入れただけで
満足すると
思うたか

貴様がやらねば
小娘が囃られる
のだぞ

い...や

だ...めえ

う...う

ニヒル...
ニヒル...
ニヒル...

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ





どうだ 鬼の肉棒は人間のオスなどは比べ物にならないだろう

この味を知ったら人間同士のまくわいなぞでは決して満足できぬ身となるぞ



そした
透りくはって
腰を突き出せ

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

いい恰好だぞ
尻の穴まで
丸見えにして
腰を振っておる
なんとも
はしたない
巫女殿だ

いやあ

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す

尻を突き出す



嫌々云いながら
 しっかり腰を振り
 跌けおる

鬼の肉棒が
 すっかり気に
 入ったようだな



ゴーフィキア
 ゴーフィキア
 ゴーフィキア



膏様のいやらしい
 乳穴が美味そうに
 肉棒をしゃぶる様をな

股くら開いて
 小娘によく
 見せつけてやれ

ゴー...

そんな...
 恥ずかし...い

ら...やあ





見ない…でえ

かす…み

お願いっ
見ないでえ

しかと
見やれ小娘

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん



つい先程迄
気丈に振舞って
おった巫女殿が

牝の本性
剥き出して
よがり狂っておる

ぐわん

見な…
いでえ

いや…

うう…

意地を張ろうと
所詮は女よの

ぐわん

ぐわん

ぐわん





女の穴を
#ニメニメ

女の穴

女の穴

女の穴

だめっ
それだけほっ

それだけは
やめてっ
お願いっ

鬼の精を體に
注ぎ込まれたら

乳房などは
比へ物にならぬ
悦びを味わえるぞ



女の大事な穴の
肉壁の随々までっ

やめっ
女の穴

しっかり
染み込ませて
やるぞっ

じつくり
味わえい

だめ
だめ
女の穴

女の穴

女の穴

女の穴

女の穴

女の穴







正気を保ったまま
最後まで耐えるとは
大したものだ

だが

たった一度で
満足するなど
思っなよ

まだまだ
注ぎ込んでやらねば
気が済まぬわ

き……じ
や……あ



……っ



どこまで耐えられるか
楽しみながら廻り
尽くしてくれる



大空の戦艦





か
す……みっ

は

紅菜さん!
今のめいめい...

ははは



……

慰み物として
存えさせて
やろうと思うたが

どこまでも
抗う気ならば

せめて
鬼紋いの巫女として
死なせてくれる



ズ

小髷しい
真似をつ...

おの…れ
小娘っ

ビキーン



!!







—— 続く



討姫伝

TOUKIDEN

-卷之貳-



先生は
お話を聞かせて
ください。

先生
は、
お話を
聞かせて
ください。

好き好き紅葉ちゃん先生
眼鏡の似合うエロ優しい
先生がいいのです先生。

古文のセンスで水泳部の副顧問
プールから上がる時は後ろに
男子生徒が集中するという

のをもっと描きたかったけど
もうホントに時間切れ・・・

んしょ。



ちぢくみへ

設定だと爆巨豊だけど原稿に描いた
結局どえも爆乳で差がねえがアハハと
言おうと思、たい



爆

爆

爆

設定の時点をすぎに差がない。



あ
カンセー

私
ニはニ世のテスト
をト受、たしんてマ...

アハハハハ
お前ニはニ世
ニ受、たしんてマ...

アハハ

突然特に何ともない可に熱が発動しましたのでオリジナルのKで頂がひとつ。



カッパッ

カッパッ

カッパッ

カッパッ

カッパッ

カッパッ

カッパッ
カッパッ
カッパッ

カッパッ
カッパッ
カッパッ

カッパッ
カッパッ

カッパッ
カッパッ

カッパッ
カッパッ



キー ホロッ
まふニ使わせて
本件いかにいっ

ナ、ヤとトホヤトナト
しま、こ片付け
終大りせなヤニヤッ

ナ、コト
世かりにんヤナヤ、こ
野ヤナヤ

百、ヤナヤ
ヤナヤ

ヤナヤ
ヤナヤ

い
い

ほ……っ
外に……
二使……っ
また……持除
し……っ

い
い

い
い

い
い

い
い

い
い
このな校服
(どれなよ)の
学校に通いたが
ったとてあ

い
い

ここに見本貼シールを貼ります。
皆さんはお手元のお好きなミク
タヨーシールとが神戸牛ブラン
ド証明シールを貼ってお楽しみ
下さい。



ついでねんがんの
Shantae
日本版配信決定！！
しましたね。楽しみ。

発行サークル：へら承な
発行者：いるまがみり
発行日：2013/12/31
印刷：コーシン出版
連絡先：
hbgc@ninus.ocn.ne.jp

この本の一部または全部を
無断で複製、改造、転載、
またはデジタルデータにして
使用、販売、配布することを
固く禁じます。



密姫伝

TOUKIDEN

—卷之貳—

HELLABUNNA GIANT COMICS 47
TOUKIDEN Vol. 2 ADULT ONLY



成人向

密姫伝

TOUKIDEN

—卷之貳—

